



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第22号

イラスト © あべまりあ

発行所
天使のほほえみ

発行人 鎌田久子
編集人 野田滋美

昨年三月十一日に発生した東日本大震災で犠牲になられた方々に
衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお
見舞いを申し上げ、速やかな復興が始まる事を祈念致します。

安倍新総裁に期待する

鎌田久子

日本の本の 暁暗ぎょうあんてらす
陽の光

射し出づること

安倍新総裁

安倍氏は9月28日午後、新役員
人事決定後の記者会見において、

『①日本を取り戻す。

② 政権奪還を実行する。

③ 領土、領海、私達の誇りに手
を付けたら絶対に許さない』
という強いメッセージを出す。」
と明敏に語りました。

また総裁選の地方票でトップだ
った石破氏を幹事長に据え、閣僚経
験のあるベテランを幹部に迎えて
入れました。

さらに副総裁には、外相・防衛相
を歴任し、日中友好議員連盟会長で
ある高村正彦氏を起用しました。政
権奪取後の対中外交を踏まえての、
素晴らしい布陣です。

やっとな日本列島は夜明けを迎え、
現政権の陰謀を消滅する浄風が吹
き渡り始めました。

あとは、一日も早く現与党を解散
に追い込み、政権が自民党に委譲さ
れる事を祈るばかりです。

五年前安倍氏が総理になったと
き、『戦後レジームからの脱却』
と銘打って、わずか一年の在任中、
三つの事を成し遂げました。

(一) 独立国家として、自主憲法制
定2/3の国民投票法を成立。

(二) 防衛庁を防衛省に昇格。

(三) 教育基本法を改正し、国を愛
する心・家族の絆を大切にす
る家庭教育の重要性を盛り込む。

日本は今、歴史始まって以来の危
機に直面しています。

国の生命(領土・領海・山林)と
人の生命(中絶による民族の激減・
優秀な日本人拉致)など、かくも完
膚なきまでに疲弊させられ、貶めら
れてきたのはすべて、米国に隷属し
なければ生存できない『諸悪の根
元・現憲法』に由来します。

現米国製憲法を奉戴している限
り、日本は永遠に独立できません。

また「天使のほほえみ」が提唱す
る「経済的理由」の削除が為され
ても、現憲法が温存されている限
り、性道德の頹廢が謳われている
ため、闇の中絶に歯止めがかかり
ません。

このたび終始一貫、現憲法無効
論を生命懸けで訴えておられる
『国体護持塾』塾長、南出喜久治
先生より、二日間に亘ってご指導
を賜ります。

魂の底の底から燃え上がる愛國
の至情を、皆様と十一月二十四・
二十五日の一泊で共有致したく存
じます。

何卒、ごぞつてご参加下さいま
せ。心よりお待ち申し上げており
ます。

平成二十四年度

一泊研修会のご案内

今年も代々木にて一泊研修会を
開催いたします。

日時 11月24日(土) 13:00

～25日(日) 12:00

場所 代々木

国立オリンピック記念

青少年総合センター

センター棟404研修室

(24日夜、25日は510)

講師 南出喜久治弁護士
鎌田久子理事長

会費
・ 宿泊の方 7千円(食事込み)
・ 通いの方 1日1千円
テーマ 「甦れ、太陽の国・日本」

母体保護法改正、生命尊重、日
本国憲法無効の研修、24日夜に
交流会、25日早朝に明治神宮参
拝等を行います。

全国の役員、会員と熱く語り合
い交流を深め、膝を交えて運動拡
大の施策を練りたいと思います。
研修室は定員40名のため、4
0人で打ち切らせて頂きますの
で、お早めにお申込み下さい。

お申込みフォームはチラシの
裏に付いています。
(チラシを参照下さい)

お友達をお誘い下さい

年会費	個人	正会員	2千円以上
		賛助会員	5千円以上
		篤志会員	1万円以上
	法人	一口	5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

総会 記念研修会 第一講演

杉並区議会議員 松浦芳子 先生

「日本人としての子育て」

— 美しき日本に幸あれ —

・・・(前号の続き)

私は被災地に8回位行きました。震災後1週間の時、「水もない。ガソリンもない。何も無い。」と聞いて、持つて行ってあげたいと思いましたが、水もガソリンもポリタンクも手に入らないのです。困っていたら、息子やその仲間、頑張れ日本の仲間達が、トラック一杯に水・ガソリン・灯油を調達してきました。我が家と何十年来の付き合いのガソリンスタンドのおじさんが「そういう事なら、全部持つて行け」と泣きながら帰りのガソリンまで入れてくれ、食費の足しにしろとお金もくれたと言います。被災地では、「水は生命なんです」と喜ばれました。

高年齢者の施設は、おしこの腐った臭いがします。水がなくして洗えず、洗濯場は洗濯物が山の様に詰め込んであるのです。鼻をつまんでもおかしくなりそうです。大変な思いをして川から水を汲んできて、洗濯機を回しておられます。

もさせて戴いています。これはチャンネル桜の「地方議員アワー」番組で親しくなった地方議員の中で、同じ志の議員、元議員が会員となり、一緒に街宣活動をしたり、情報交換をして意識を高めています。



諸島周辺まで行きましたが、3mの大波にもまれ、7時間かけやつと辿り着きました。しかし日本の領土なのに、上陸できないのはすごく残念です。

日本人は、震災の時でも暴動を起さず、ガソリンを求めて長い列を作つて整然と並んでいます。DNAに正直・誠実な日本人魂が入っているためだと思います。



大正8年、日本は人種差別撤廃法案を提出して、一旦は可決しましたが、米英が強引に「反対票(米英)があるものは承認されない」と却下してしまいました。日本こそ平和を愛する民族です。そういう尊い国である事を皆が知ってほしいと思います。

HB-101の開発—フローラの経営理念—

(株)フローラ社長 当会顧問 川瀬善業

私は昭和51年7月1日に創業し、昭和53年4月3日に、植物を還元気にする「天然植物活力液のHB-101」の販売を始めました。

そして昭和57年10月13日に株式会社フローラを設立しましたが、その経営理念は私の恩師に導かれた、次のものです。
一、天皇国日本を作ります。
一、全人類を天皇信仰に帰一せしめます。

一、植物技術と自然力で、日本と世界の幸福に貢献します。

この経営理念のお蔭で(株)フローラは、HB-101を主力商品として、日本中、世界中に販路を広げていけるようになったと、信じています。

HB-101は、日本では北海道から南は沖縄まで広く使われ、百万人以上のお客様に直接販売させて頂いています。また五千店以上の店でも販売しています。また海外では五十カ国以上の国で販売されています。HB-101は、世界中で八千万以上の人達に繰り返し使

っていただいています。

HB-101の原料は、杉・松・オオバコ等の4種類の植物です。これらの抽出エキスを商品化したものです。

HB-101を水・お茶・コーヒー・紅茶・酒・ビール・ジュースに何滴か入れて飲んだら、ガンが治ったり、あらゆる病気が直ったりしましたので、HB-101から健康食品の「ハッピーバイオ」を作りました。

またHB-101を頭に塗っていたら、続々と毛髪が生えてきたので、医薬部外品の薬用育毛剤HG-101を開発して製造販売するようになりました。またHB-101を顔に塗っていたら、顔がピカピカになったので、天然の化粧水の雪恋姫を作り出しました。

このように(株)フローラは、HB-101を中心に様々な商品を開発して、世のため人のために役に立ちたいと、経営理念に基づいてこれからもひたすら前進していきたいと思えます。私の恩師には本当に感謝して

います。恩師の先生、本当に有難うございます。

一川瀬社長は三重県の植林をする家の15代目に生まれ、小学生の時農業が使われ始めると、あたるの虫・とんぼ・どじょうなどが姿を消していきました。

それを憂えて友人とその対策を考える昆虫クラブや鉱物クラブを立ち上げました。川瀬家には杉や松や檜などの木々の効能が書かれた家伝があり、それを参

羊水染色体検査に思う

当会理事 新村節子

昔の日本人は子供を子宝と慈しみ、お腹の赤ちゃんを臨月まで指折り数えて待ち、誕生したら数え年で一歳としました。子供の満たされた顔がそこら中にありました。その様を見た外国人は驚き、感動して書き記しています。

大東亜戦争以前、多産国家だった日本人は、人口暴発を恐れて諸外国へ多くの人が移住してしま

った。ところが戦後、第一・第二ベビーブームはあったものの人口グラフは逆転し、若年層がすばんで減少を憂えています。その何よりの要因は人工中絶です。合法化され、罪悪感が薄く

考にして小学4年にはHB-101の原型を作っていました。

HB-101は、農業を使わなくても(使ってもかなり減量でき)、野菜や果物の味を大変良くし、丈夫にする事ができます。沖縄で農場経営も始め、様々な農業改善を模索されています。

川瀬社長の活動は、食料自給率アップや遊休地の有効利用、農業従事者の育成にも繋がります。日本や世界の農業の発展に大きく寄与していく事でしょう。◇

その技術は高く、もはや日本は中絶大国と呼ばれています。体験者がそこら中にいるのを気使ってひた隠しにし、欧米のように世論にも出ない有様です。

結婚して妊娠しても、羊水の染色体検査をして障害や病気があるのを見分けようとします。果たしてそれが文明の進歩と言えるでしょうか。検査中の胎児の不安や悲しみは如何ばかりでしょう。自らが胎児の立場に立つて考えて欲しいと思います。

小児麻痺で生まれて、現在は車椅子で生活している二十年來の友人がいます。週一、二度伺って

お手伝いもしますが、彼女の健康さに私の方が力付けられています。障害ある人が一定の割合で生まれるのは、競争社会において人の優しさを引き出してくれる存在だと思えます。

子供を望んでも不妊の人、妊娠して困る人など多様さが世の常です。不妊治療に時間や費用を掛けずに、自分のDNAにこだわらず同じ日本人のご先祖を持つ縁として捉え、養子縁組が増えると思えます。

戦後一億人に上る闇に葬られた胎児の魂の怨念が、いじめや暴力問題、鬱や精神不安、自然災害等で訴えています。

一刻も早く明治憲法に復元し、母体保護法をなくし、本来の日本人の誇りを取り戻しましょう。そうすることによって自虐思想でジェノサイドしようとしていたメディアも、経済優先であった風紀の乱れも徐々に抹消されていくでしょう。

日本人は世界中に住んで影響していく事が、地球の為になります。日本沈没的発想とは訣別し、世界の治安に役立ちましょう。その為に少子化対策でなく「多産化政策」と称して邁進し、末広がりの永遠の日本を築きましょう。◇

母体保護法改正への思い

作家 当会理事 三好 誠

「一」著書「日本人がいなくなる」
「いとけなき生命に光を」より
抜粋させて頂きました。

1. 真つ先に作った優生保護法
優生保護法が制定されたのは昭和二十三年、ようやく配給米の遅配がなくなりかけ、民間のラジオ放送が始まる一年前、商品は闇市にしかなかった時代でした。

この法律は生活保護法の一年前、医師法や医療法より先に制定しているのです。それは何を意味しているのでしょうか。そこには占領軍の強い意思が働いていたことは容易に理解できるでしょう。

占領軍は強い日本が再建されることを恐れて、多産の日本人の人口一子供を減らすことを企みました。真面目で勤勉な日本人に耐乏生活を捨てさせ、日本人の厳しい道徳心を捨てさせ、羞恥心や罪悪感もなく誰でも公然と処置できるようになりまし。進駐軍のくれたプレゼント、「自由」の大判振舞いのひとつだったのです。

2. 激減した出生率

敗戦直後の欠乏と貧困の極限状態にあつても日本人の出生数は、年間二六五万人を超えていました。その後はそれ以上に増加する傾向にあつたのです。違法な空襲に焼き尽された防空壕やバラックの筵（むしろ）の上で、母体の健康どころではなかった。けれど、そんな中でも赤ちゃんは立派に育てあげられたのです。

ところが、優生保護法で堕胎を奨励してから、数値はどうなつたのでしょうか。

自然に任せていたら三十年代、四十年代の出生数は三〇〇万人を超えていたでしょう。しかし実際は、24年をピークに下り始め、30年代は150万一年で120万のマイナスが続いています。毎年あの大戦争で失われた年間平均値以下の、胎児の命が絶たれ続けたことが示されています。

3. 母体保護法の矛盾点

占領政策で作られたにして、憲法二十五条には「すべて

国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とあり、十一條には「基本的人権は、侵すことの出来ない永遠の権利として、現在および将来の国民に与えられる」とあります。その上十三條には「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、国政の上で最大の尊重を必要とする」と謳われています。



将来の国民とは何か。それは受精し着床した胎児以外の何物でもありません。胎児こそは法の上でも最優先最重点で尊重され保護される存在なのです。

現に生活保護の受給者は百万所帯を超えており、その保障のレベルは途上国の平均所得の数倍にも及びます。

4. 本当の母体とは

母体とは何ぞや、子どもを生み、養い育てる女体のことではありませんか。子どもを生むことを拒む女体なら保護に値しません。一旦

受胎したら子どもを産みながら性根を改めさせることが母体保護なのです。子を殺すのは鬼婆か羅刹女ではありませんか。決して保護してはなりません。

今や生活保護でさえ豊かであり、それでも経済的理由で育てられないのなら、国家が引き取って養育すればよいのです。

現代の医学で、健康に成人させ得ない場合と出産が母体の健康を著しく損ねることが不可避免の場合に限り、優生保護の施術は容認されるべきで、それ以外に母体の恣意な反社会的願望は却下されなければなりません。

一この本をご購入希望の方は、野田までご連絡下さい。

チラシ配りの活動報告

副理事長 野田滋美

8月15日に、靖國神社前の靖國通り歩道でチラシ配りをしました。チラシは「少子化対策の決め手・母体保護法」の改正を！で、占領国が民族抹殺（シエノサイド）の意図の下に押し付けた「優生保護法（現母体保護法）」の「経済的理由」の条文削除を訴えるものです。

毎年この日は靖國神社に20万人の参拝者があり、少なくとも、街宣で街行く人に配るのに比べ、国家意識の高い人達です。この方々へアピールして行こうという街頭活動です。

朝9時からチラシ2000枚を配りました。参加者は5人で、遠くは御殿場から来られました。チラシは10時半には全て配り終わりました。参加された方はご苦労さまでした。

鎌田理事長は中央国民集会の運営をされており、配布終了後報告に行きました。

来年も実施し、多くの人に私達の運動を訴えてまいります。

編集後記

安倍晋三先生が自民党総裁になられました。本当に喜ばしいかぎりです。自民党新政権による日本再生を熱願します。

